

2005年9月より済生会熊本病院臨床工学部より週2日の派遣で業務を行っており、常勤の臨床工学技士は不在である。

1. ME機器中央管理業務

ME中央管理室の業務では、機器の貸出し、保守点検整備および修理を主たる業務として活動している。

中央管理しているME機器は、人工呼吸器7台（マスクベンチレーションの機器含む）、輸液ポンプ23台、シリンジポンプ8台、経管栄養ポンプ3台、小型シリンジポンプ6台、低圧持続吸引器6台、超音波ネブライザー4台、除細動器4台、AED2台、体外式ペースメーカー2台、ファイバースコープ2台、その他に医用テレメータ、ベッドサイドモニター、自動血圧計、パルスオキシメータ、ジェットネブライザーであった。

熊本県からの新型インフルエンザ対策費にて人工呼吸器「BENNETT840」を新規導入した。

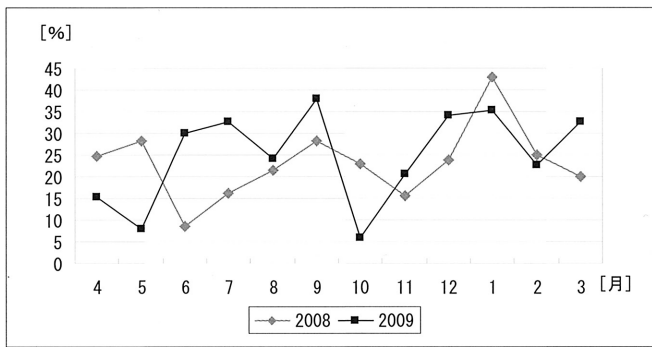


図1. 人工呼吸器の稼働状況比較  
平均稼働率25.0% (前年度23.1%)

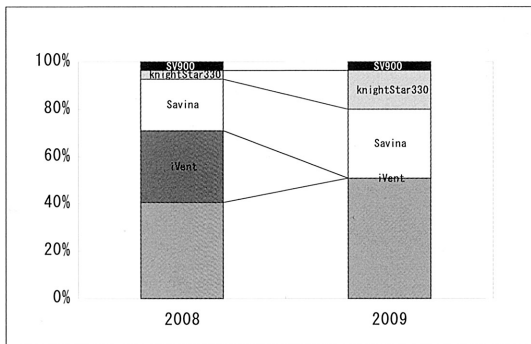


図2. 人工呼吸器使用割比較

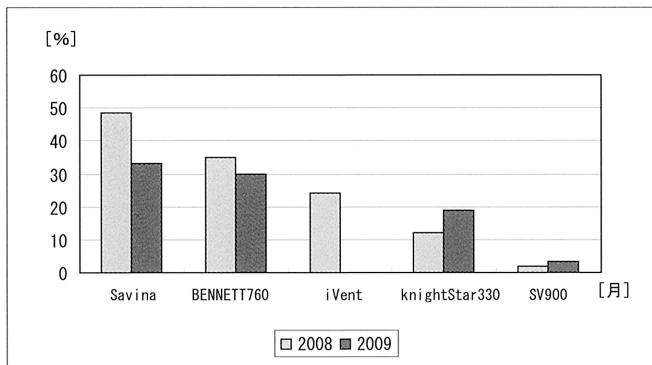


図3. 人工呼吸器機種別稼働率比較

図2より「BENNETT760」（2台）と「Savina」（1台）の計3台で全体の約80%を占めた。「SERV0900」は、「BENNETT760」「Savina」が使用できな

い場合の予備的な役割を果たしている。

「iVent201」は、レンタル料改定により不採算となる為、2009年はレンタル契約を行っていない。

2. 病棟機器の修理整備業務

機器の修理・調整は、中央管理機器によらず病棟管理の物品も行っている。

表1. 修理買替件数

部署	血圧計	酸素流量計	吸引器	モニタ関連	パルスオキシメータ	聴診器	小型シリンジポンプ	人工呼吸器	その他	合計
1・2病棟	5	4	2	4	0	0	0	0	2	17
3病棟	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4
4病棟	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
リハビリ	3	0	0	0	1	2	0	0	0	6
外来	4	0	2	0	0	0	0	0	0	6
手術室	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
ME	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
合計	15	7	5	5	2	2	2	1	4	43

(前年度41件)

2009年度の修理依頼状況は自動血圧計が最も多く、次いで酸素流量計であった。

酸素流量計は、現行機種が生産終了の為、来年度より故障が少なく高精度な機種へ更新していく予定である。

3. 人工呼吸器業務

人工呼吸器が必要な緊急時は、機器を選定しベッドサイド配置及び呼吸器設定の補助を行っている。

定期的な回路・フィルタ交換を行っている。

要望があれば回路構成の変更も行っている。

4. ペースメーカー業務

対外式ペースメーカーの電極挿入時にジェネレーター操作及びサポートを行っている。

5. 手術室業務

麻酔器の定期点検を行っている。

要請があれば手術の補助も行っている。

脳外科の開始に伴い、MEP業務等の需要が見込まれる。

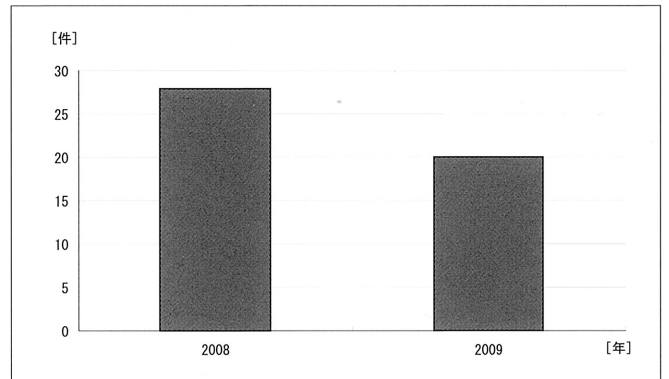


図5. 手術助手業務件数

2009年度の手術助手業務は、泌尿器科20件であった。(前年度28件)

6. ME教育・指導

ME機器の原理、構造、適切な使用法の勉強会を行っている。

起こりうるトラブルとその対処、安全対策等に関して随時情報提供を行っている。

トラブルの報告があった際は、迅速に対応・原因追求して返答し、その情報をME中央管理室に蓄積して、メーカーとの協議を行っている。